



2014年原水爆禁止 国民平和大行進ニュース

No.1
2014/7/5

2014年国民平和大行進
群馬県実行委員会事務局
前橋市大手町3-4-2
☎027(234)7275
FAX 027(234)7276

長野から群馬へ

霧雨の
碓氷峠

引き継ぎ集会に100人



長野行進団から平和行進の横断幕を引き継いだ = 7月4日、碓氷峠



山内さんのトランペット演奏。右が伊藤さん 滝沢代表理事 コープ小保方常務

歩くという素朴な形で平和への思いを

2014年原水爆禁止国民平和大行進は7月4日、碓氷峠で長野県から群馬県への引き継ぎ集会が開かれ、長野から40数名、群馬から約50名の代表が参加しました。

長野の行進団が近づくとコープぐんま組合員有志による合唱で、歓迎の歌声が響きました。

集会は、コープぐんま常務理事の小保方直行さんの歓迎あいさつに続き、群馬原水協代表理事の滝沢俊治さんがあいさつ。「私たちは平和への思いを歩くという素朴な形で示し、安倍政権が企む軍国主義化を阻止し、核兵器廃絶にむけた確かな展望を切り開こう」と述べ、「みなさんの熱い思いを引き継いで群馬でも力強く行進したい」と決意を語りました。

長野の通し行進者として、休暇を取って7日間参加した市役所職員や、丸山稔事務局長があいさつ。北海道礼文島から東京まで行進中の山内金久さ

ん(65歳、東京・板橋原水協)も力強くあいさつし、拍手に包まれました。群馬の通し行進者の伊藤国夫さん(年金者組合)が、今年で連続10回目に挑戦する決意を語りました。

横断幕や団旗を引継いだあと、サブライズが！ 全国通し行進者の山内さんが、トランペットで流麗に♪「青い空は」♪の演奏を始めたのです。帰り支度を始めた参加者も、すぐに耳を傾け、参加者全員による合唱になりました。碓氷峠は肌寒く、霧雨と横殴りの風の中でしたが、参加者の思いは熱く燃えていました。

※

平和行進は7月5日から10日間、県内全市町村を繋ぎ、14日に上武大橋で埼玉へ引き継がれます。

「メイン行進」は、5日は碓氷峠から松井田支所を行進。6日は松井田支所から富岡市役所まで。また6日は前橋を始め県内市町村をくまなく行進する「網の目行進」も始まります。

◎安中市議:金井久男さんのブログより

5月6日に北海道礼文島を出発した2014原水爆禁止国民平和大行進は、根室からの行進と砂川、札幌で合流し、日本海コースと太平洋コースに分かれ全道府県をつないで東京まで向かいます。碓氷峠で引き継いだのは日本海コースからで、北海道から山内金久さん(65歳、板橋原水協)が通しで歩いています。群馬県内は10日間ですが、県内通し行進者は、今年10回目の伊藤国夫さん(73歳、安中年金者組合代表)、ほか2名です。安倍政権が「集団的自衛権行使容認」を閣議決定したことで、全国の自治体でも懸念が表明されていると山内さんが報告されました。

福島の原因究明も事後処理もままならないのに、全国の原発再稼働を急ぐ安倍自民公明政権に、行進の中で抗議して行くことになるでしょう。【補記 県内通し行進はほかに荒木兼男さん(前橋平和委3回目)、藤田康代さん(高崎民商3回目)の計3名です】